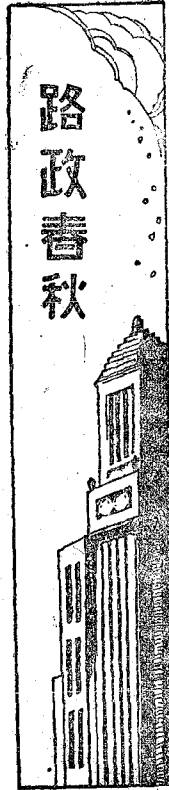


路政春秋



悪質地帯も「ルーフ・シールド」に顔負け

急潮の早瀬海底下に建設する本土九州を結ぶ國道關門海底トンネルはいよいよ新年度を期して本工事の本格的掘鑿を開始することになり、内務省下關土木出張所では着々準備を整へてゐるが、本トンネル掘鑿ルート中下關側二百メートル附近からおよそ五百メートル間の海底地帯は最悪質地帯で、同區間の突破如何はトンネル掘鑿成否の鍵を握るものとしてこれが掘鑿工法につき慎重考究を進めてゐたところ、最悪の場合には新たに「ルーフ・シールド」を採用掘進することになった。同地帯は珪岩より成

り龜裂、湧水多くボロ／＼の難層帯で豆下トンネル掘鑿に際しても極めて難工をつゞけてをり、單なる素掘り工法で危険を感じるにいたつたので、ルーフ・シールドの並用が具體化されるにいたつたのであるが、このルーフ・シールドはトンネル内に鋼鐵型(長さ五メートルくらゐ)馬蹄型の屋根を設置湧水、崩潰を食ひ止めながら徐々に掘進し、強力な水壓を利用してシールドを移動せしめようといふもので、建設第二年度を迎へて最初の掘鑿プランも決定、海底征服目指して突進することになつてゐると悪質地帯も「ルーフ・シールド」には顔負け。

大都市々民足の問題

大都市交通上市民の足の問題は市民生活上重大なる問題である。大阪市電氣局、庶務及企劃課長鷲尾重一氏の言を聞かん曰く「運輸事業の理想は快速、正確、低廉、愉快の四大原則につき事業の効果を最大に發揮することにあることは贅言の要はない。然るに現實は餘りに距離がある。バスが來ない電車が遅れる、來ても乗れない、乗れても満員詰り、事故頻發するなど當局に對する非難の聲は高い。市電は市内にある會社バスならびに電車社線の買収を昭和十二年末までに大略完成するにおよび、同年度には乗客數一億五千萬人、乗車收入八百五十一萬圓、運轉車輛數電軍延九萬九千輛、自動車數延十二萬輛の成績をあげ、赤字は黒

注

本欄は讀者諸君の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の奇稿を望む。一文は四百字位にて取捨は編輯部に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

子となり、いよ／＼統制の實質的效果が現はれて来たが、たまたま新京建設の非常時局に當面したため、經濟界特に軍需工業はとみに股賑を極め、人口の増加とともに市電、バス一人當り乗車回数はぐん／＼と上昇し、昨年一ヶ年の乗客数は事變前の約一倍半、二億人に達した。この急速の變化に適合するには、當然車輛を増加せねばならぬのだが、資材統制の關係でこれに多くを期待出来ないの已を得ず車輛の改造、軌道の補修、電線路の補修改替に全力を注ぎ一時を凌いでゐる有様である。

さらに一方にはまた人的資材の缺乏により運轉手、車掌、職工の増加募集にも躍起となつてゐるが、これまた失望的結果に終つた。かくするうちにも時局はいよ／＼深刻化するのみで、ガソリンの一滴血の一滴となつた。唯一の代用燃料木炭は、「自家生産」にまで追ひつめられてゐる。さらに電力の節約は一層強化せられるなど／＼

市電氣局は今や火焔の眞只中に投げこまれた状態である。この火中から脱出するため當局としては過般來バス系統の都心折返へし、密度重點主義による電車の運轉系統および配車の修正、十字交叉點における電車曲線系統の廢止、繁閑時に對應する車輛増減の強化、ラッシュ時における急行電車の實施、従事員の訓練などを實現すべく、全力を擧げて突進してゐるが、これでもなばかつおよばぬとあれば最後の切れは「乗車統制」の斷行あるのみである。

通學バスの發行はその一つの現はれと見てよい。この差し迫つた現狀を打開するため、さらに合理的乗車統制を行はねばならぬかも知れぬ。この際市民各位に是非とも守つて戴きたいことは車の出入口を塞がないこと、回数券を利用せられたいこと、大きな荷物は遠慮せられたいこと、老人や子供はなるべくラッシュ時の乗車を御遠慮されたいことである。

道德警察は交通に役立つか

上司小劍氏「道德警察」の設置を唱へらる。ドイツの様に嚴罰を活用して國民に臨んでも、關取引や脱税は絶滅しない。國民の道德心が發揚しない限りはと前提して曰く「そこで私は、この際道德警察なるものの創設を考へたのである。關取引とか脱税とか、そんな大きなことでなくとも、瑣末な日常生活に於いて、目におまる不道德や不行儀を、交通機關の内部やまた街頭で見ることがある。かういふ場合、ちよつと注意するか、戒告してやりたくとも、普通人には職権がないので、『よけいなお世話だよ』と逆捻ぢを食へば、だまつて引ツ込むよりはかはない。そこで、道德警察の制を設け、たとへば市町村等で、信賴するに足る名望家の類を相當多數に撰び、これに「名譽警察官」とでもいふべき片手間の仕事を囑託し、その證票を交付して、ほゞ警察

官同様の職權を與へるのである。敢て積極的に警察事務は行はぬが、専ら消極的に、外出の途中などを利用し、道徳上の立場から、半ば教育家風におとなしい態度で説諭などをさせたら、經濟警察の方面にも役立つことであらうと思ふ。〓と教へずして隨はしむることも果して効果的であらうか。

市電停留場半減の聲

を何んと聞く

東京市電車に對する不平不満も少なくないが、去る日の東朝紙上「内務技師寄」として次の如き投書があつた。〓前略〓市電現在の停留場間隔は、主要路線を平均して約三七〇米であるが、三〇〇米程度の短區間のものがあまりに多過ぎる。これを省線中央線の平均一〇〇〇米、環狀線の一二五〇米、東横の一〇〇〇米、地下鐵の七五〇米等に比べると、路面電車とは申しながらあまりに短か過ぎる。市電の利用者は何も道路沿に住んでゐる人達ばかりではない。

大部分は街廓の内部に住んで居る。停留場の間隔が例へば六〇〇米程度になつたとこゝろで、歩く距離は殆ど變りがないはずである。よし平均二分位歩く距離が長くなつても、それよりも電車の速度が早くなるだけ誰しも得策ではあるまいか。

◇反對者は「市電の停留所は過去の長い歴史を有してゐるから、一朝一夕に更改は出来ぬ」と云ふかも知れない。成程廢止になる停留場の前の商店などは、いくらか打撃を蒙るかも知れないが、この非常時局において、市民の活動上それが有益と判れば、こんな問題は容易に解決されるであらう。

◇若し夫れ急な改正が困難な事情にあるなら、混雑時だけでも「急行時間」として半減停車を行ふの。一方法ではあるまいか。

◇この改正には市電當局の熟慮と果斷を望みたい。この改正を切實なもの認めながら當局が斷行に躊躇するやうでは、問題の交通統制市警論も返上なさるより外あるまい。〓と至極尤も、御説である。今は昔

大正八、九年の頃の乗客混雑を極めた際、市當局では市會議員の同意を得て停留場減少の案を立てたが、いざ實行するとなると市會議員は自己の選舉區内は減少されては困るとの理由で相當猛運動を開始し、市電當局も遂に施すに術なきを感じたと某知人から聞いて居る。明案も逸案とならねば幸甚。

禁酒の結晶は小學校

石川縣昨羽郡河合谷村は十四年前小學校建設の爲め一村を擧げて酒盃を棄て、有名な禁酒村を出現し、終に禁酒の結晶は遂に小學校の建設となつた。東朝特派員の報告を見るに次の通である。〓河合谷村にとつて永久に記念すべき禁酒斷行の日だ。その頃村の小學校を新築するには四萬五千圓といふ大金が必要だつた。全村二百七、八十戸そこ／＼の一寒村にとつて一戸當り二百圓は容易ならぬ負擔だ。〓よし禁酒しよう！』愛する子供たちのために！ 先づ五ヶ年計

畫——全村の評議は忽ち一決した。

村には八軒の居酒屋があつたが『村のため』と激く廢業を申出た。早速村の入口に『禁酒』の標石を建て、各戸の軒下には『禁酒』の二字の朱書標札が貼られた。最初の五ヶ年は夢の間に過ぎた。もう五年！そして今年で早や十四年——『禁酒』は今や永久に河合谷村の輝かしい紋章になつた。

禁酒斷行は當時三萬圓そこ／＼だつた村の貯金が、現在では經費五萬圓の立派な小學校が建ち、産業組合貯金二十萬圓、郵便貯金一萬六千圓、それに銀行預金などを加へるとサツと三十五萬圓、子供たちは「親たちが禁酒して建ててくれた學校で勉強する」ことを誇りにして學業に精を出した。

この間村長あてに舞ひ込んだ一通の白い横封筒の封書があつた。村民はびつくりした。この手紙は外國の雜誌で紹介された禁酒村の記事をみて、英國の國立保健協會から「もつとくはしいことを知らしてほしい」と照會して來た依頼狀であることがわかつ

た。又一兒童の作文は感心の至りである。

曰く「僕ラノ村ハ日本一ノ禁酒村デス、コノ禁酒ノオ蔭デ僕ラノ立派ナ學校ヘ建ツタノデス、學校ヘハ澤山ノ人達ガヤツテ來テ演説シタリ、寫眞ヲウツシテイキマス、僕ラモ大キクナツタラ、ナホ／＼コノ禁酒村ヲ立派ニシヨウト思ヒマス。

あるかなきかの珍聞

奇譚

○古墳の發見 所は愛媛縣温泉郡松山市外潮見村の山地で蜜柑畑にと開鑿中に偶然發見された。二千年以上を經過した古墳。

夫れは地中五枚の花崗岩により長さ六尺、幅一尺五寸の立派な石棺が造られ、四枚の平石で完全な蓋がされてゐた。棺の中には既に茶褐色化した頭蓋骨一個と祝部土器一個が收められてをり、骨格の大部分は既に風化したものとみられ、その他の副葬物は遂に發見されなかつた。青年學校教員養成所歴史科黒川教諭は次の通り語つた。『發

掘の祝部土器は彌生武士器の次の時代のもので、大和民族の先祖が使用したものである。そのこそは既に鐵器時代に入つてをり古墳の通例として相當の副葬物があつたことも想像されるがこれがなく、山頂で濕氣のためあとかたもなく消失したといふことも考へられないから、後世誰かの手で一度發掘されたことがあるのではないかとも思ふ。石棺の大きさは五尺以下の小男のものであり、骨格の風化などからみて成年に達せぬ子供であつたかもわからない。

君が爲め盡せや
盡せ己が身の
命一つを
なきものにして